



2週間以上続く咳 百日咳かも！

平成 30 年 9 月 12 日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(平成 30 年第 36 週分・9 月 3 日～9 月 9 日)

《 インフォメーション 》

●百日咳

百日咳は、2018 年 1 月 1 日から感染症法に基づく届け出基準が改正され、これまでの小児科定点把握疾患から、全数把握疾患に位置付けられました。県内では今週新たに、4 件の百日咳の患者報告があり、これまでに報告された数は 14 件となりました。年齢別では、すべて 20 歳以下となっています (図参照)。

百日咳は、百日咳菌を原因とする急性の呼吸器感染症で、長引く咳を特徴とします。患者の咳やくしゃみなどに含まれる菌を吸い込むことにより感染します。百日咳の症状は 3 段階に分けられ、潜伏期 (1～2 週間) の後に、

①カタル期：風邪に似た症状で始まり、発熱はなく、咳が徐々に強くなります。②痙咳期 (けいがいき)：百日咳に特徴的な咳 (コンコン・・・ヒュー) が持続します。③回復期：激しい咳発作は次第に弱くなり、症状が治まります。乳児では重症化しやすく、無呼吸発作やチアノーゼなどの症状が現れ、まれに脳症や肺炎を伴い死亡する場合があります。

乳児を百日咳から守るためには、予防接種が重要となります。お子さんが生後 3 ヶ月になったら、出来るだけ早くワクチンを受けましょう。成人やワクチン接種後の感染者では、典型的な発作性の咳が目立たないため、百日咳と診断されないことが多く、乳幼児への潜在的な感染源となっています。また百日咳は感染力が強く、学校や集団施設における集団発生が報告されています。2 週間以上咳が続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

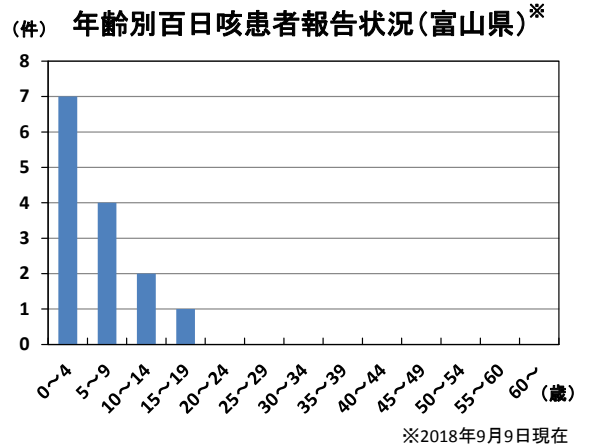
《 全数報告の感染症 》

- 二類感染症 結核 4 件 (①第 35 週診断分:70 歳代、女性 ②60 歳代、女性 ③70 歳代、男性④90 歳代、男性)
- 三類感染症 パラチフス 1 件 (20 歳代、男性)
- 四類感染症 E 型肝炎 1 件 (70 歳代、男性)
デング熱 1 件 (50 歳代、男性)
- 五類感染症 水痘 (入院例) 1 件 (第 35 週診断分: 20 歳代、男性)
百日咳 4 件 (①10 歳未満、男性 ②③ともに 10 歳未満、女性 ④10 歳代、女性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数		
順位	疾病名	今週	先週	増減
1 位	ヘルパンギーナ	4.76	3.48	↑
2 位	感染性胃腸炎	4.66	4.24	↑
3 位	RS ウイルス感染症	2.21	1.76	↑
4 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.97	0.93	↑
5 位	手足口病	0.59	0.34	↑
6 位	突発性発しん	0.45	0.31	↑

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>



○感染症発生動向調査報告状況（平成30年第36週 平成30年9月3日～平成30年9月9日）

分類	疾患	今週報告分（第36週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核		1	2			3	9	12	43	15	71	150
三類感染症	細菌性赤痢										1		1
	腸管出血性大腸菌感染症							3	3	3	3	11	23
	バラチフス					1	1					1	1
四類感染症	E型肝炎			1			1	1		1	1		3
	A型肝炎											3	3
	つつが虫病											1	1
	デング熱				1		1				3		3
	レジオネラ症							1	1	7	3	20	32
五類感染症	アメーバ赤痢										1		1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									3		7	10
	急性弛緩性麻痺										1		1
	急性脳炎							2		1	1	1	5
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							4	1	5	2	5	17
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		1		1	4
	侵襲性肺炎球菌感染症							2	2	7	4	13	28
	水痘（入院例）							1		2		2	5
	梅毒									1		7	8
	播種性クリプトコックス症											3	3
	百日咳				3	1	4					6	8
	風しん										1	2	3
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ				7		7	2,232	1,824	3,485	2,449	5,346
					1.00		0.15						
RSウイルス感染症			1	24		39	64	38	22	109	24	360	553
			0.33	3.00		3.90	2.21						
咽頭結膜熱		4		2		1	7	200	69	246	26	280	821
		1.00		0.25		0.10	0.24						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	1	10	1	13	28	148	102	499	211	673	1,633
		0.75	0.33	1.25	0.25	1.30	0.97						
感染性胃腸炎		30	17	25	4	59	135	990	690	1,105	212	2,469	5,466
		7.50	5.67	3.13	1.00	5.90	4.66						
水痘				4		1	5	18	6	93	52	96	265
				0.50		0.10	0.17						
手足口病				5	9	3	17	4	12	51	28	119	214
				0.63	2.25	0.30	0.59						
伝染性紅斑				4			4	4	1	88	44	34	171
				0.50			0.14						
突発性発しん			2	6		5	13	49	38	166	41	130	424
			0.67	0.75		0.50	0.45						
ヘルパンギーナ		11	12	56	11	48	138	39	54	180	45	172	490
		2.75	4.00	7.00	2.75	4.80	4.76						
流行性耳下腺炎				1			1	3	7	17	3	33	63
				0.13			0.03						
急性出血性結膜炎											14		14
流行性角結膜炎							2	16	9	4	5	36	
細菌性髄膜炎											5	5	
無菌性髄膜炎											2	2	
マイコプラズマ肺炎					1	1	3	3	6	5	8	25	
					1.00	0.20							
クラミジア肺炎										1	3	4	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							3		4	2	7	16	
インフルエンザによる入院患者（*）						0						0	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成30年第36週(9月3日)～の集計です。

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年8月分）

		8月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症	2		5		7	14	3	3	15		62	83
		2.00		1.67		1.75	1.40						
	性器ヘルペスウイルス感染症		1		1	1	3		5	3	1	12	21
			1.00		1.00	0.25	0.30						
尖圭コンジローマ				2	2	1	5			3	11	11	25
				0.67	2.00	0.25	0.50						
淋菌感染症						6	6			1		18	19
						1.50	0.60						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		2	1	2	4	9	9	13	9	17	35	83
			2.00	1.00	2.00	4.00	1.80						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症				3		2	5	2		15	2	7
				3.00		2.00	1.00						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。